



Link

## B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならない」

CD I-61

- ① You **should** go to this exhibition. ▶ この展覧会に行くといいよ。  
 ② You **must** see these pictures. ▶ これらの絵は見ておかないといけないよ。

## POINT

「～するとよい, ～すべきである」は **should** を, 「～しなければならない」は **must** を用いて表します。 **must** のほうが, **should** よりも意味が強くなります。

▶ 「～しなければならない」は 〈have to〉 を用いて表すこともできます。

We **had to** visit him *yesterday*. [過去を表す場合は×must]

私たちは昨日彼を訪ねなければならなかった。

▶ **must not** [mustn't] は「～してはいけない」[禁止], 〈do not [don't] have to〉は「～しなくてもよい」[不必要]の意味になります。

CD I-62

**Let's Use It!** ⑪ \*上で学んだ表現を使ってみよう。

- (1) ある映画を見るように ① 勧めるとき ② 強く勧めるとき

The movie is great. ① You **should see**[watch] it \_\_\_\_\_. ② You **must see**[watch] it \_\_\_\_\_.  
この映画は素晴らしい。 見るほうがいいよ。 見ないといけないよ。

- (2) 生徒が職員室への入室を禁止されているとき

Students **must not**[mustn't] enter / **should not**[shouldn't] enter \_\_\_\_\_ the staff room this week.  
今週、生徒は職員室に入ってははいけません。

## B.E. 12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など

CD I-63

- ③ Tom **may have arrived** there early. ▶ トムはそこに早く着いたのかもしれない。  
 ④ He **must have enjoyed** the exhibition. ▶ 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。  
 ⑤ We **should have visited** it last week. ▶ 私たちは先週そこを訪れるべきだった。

## POINT

過去のことについて, 「～だった[した]にちがいない/かもしれない」と推量する場合は 〈**must**[may] have+過去分詞〉で表します。また, 〈**should**+have+過去分詞〉は, 「～すべきだったのに」と過去のことについての後悔などを表します。

▶ Sam was with us last night, so you **can't have seen** him at the station.  
サムは昨晚私たちといっしょにいたので、あなたが彼を駅で見かけたはずはありません。[～したはずがない]

CD I-64

**Let's Use It!** ⑫ \*上で学んだ表現を使ってみよう。

- (1) Saya looked ill last week. She **may have had** \_\_\_\_\_ a cold. [～したかもしれない]  
サヤは先週気分が悪そうだった。 かぜをひいていたのかもしれない。  
 (2) The drama was exciting. You **should have watched**[seen] \_\_\_\_\_ it. [～すべきだったのに]  
そのドラマはおもしろかった。 君はそれを見るべきだったのに。  
 (3) Jim didn't answer the phone. He **must have been** \_\_\_\_\_ sleeping. [～していたにちがいない]  
ジムは電話に出なかった。 寝ていたにちがいない。